

IBD 患者の「生活力」調査 にご協力をお願いします。



こんにちは。

私は、愛知県立大学の小児看護学の教員をしている汲田明美と申します。

思春期から成人期までの IBD(炎症性腸疾患)患者の生活力調査をしています。

生活力調査とは、IBD と共に生きる皆さんの「生活」や「考え」を教えてくださいことです。

10 歳以上 64 歳未満の方で、30 歳未満の時期に発症した方を対象としています。

この調査により、みなさまの「自立」、自分なりの療養管理ができていること、社会に参加する準備の様子が分かります。

みなさまの方々の「生活」や「考え」が分かり、思春期の子どもたちへのより良い支援につながります。

また、大人の方自身の「自立」についての振り返りにもなります。

成果物は、患者会の皆様にも理解していただける形で報告し、開示を依頼する予定です。

調査の方法・手順についての説明「調査のお願い」が次ページにあります。

お読み頂き、あなたの自由な意思で、調査に協力したいと考えていただける時、

URL (<https://www3.nrs.aichi-pu.ac.jp/limesurvey/index.php/156139?lang=ja>)
から質問紙へアクセスしてください (二次元バーコードも示しています)。質問紙へ、直接記

入したい場合、研究者汲田 (kumita@nrs.aichi-pu.ac.jp) へ連絡をください。質問紙をお送りします。(これらの説明で不明点があり、加えての説明が必要な場合には、

研究者汲田 ([E メール kumita@nrs.aichi-pu.ac.jp](mailto:kumita@nrs.aichi-pu.ac.jp)) へ連絡をください。不明な点について、説明いたします。)

ご協力いただいた方へは、謝礼を準備しています(次ページ参照してください)。



よろしくお願ひいたします。



研究代表者 汲田明美(くみたあけみ)

所属 愛知県立大学

所在地 愛知県名古屋市守山区上志段味東谷 愛知県立大学 守山キャンパス

連絡先 Eメール kumita@nrs.aichi-pu.ac.jp 電話 052-778-7141

共同研究者 前川厚子¹ 清水いづみ² 足立奈穂² 服部淳子² 柴邦代³ ¹ 四日市看護医療大学 ² 愛知県立大学 ³ 日本福祉大学